

バスピュアコートでの FRP（ポリバス） 施工要領

①

○塗装面の研磨（足付け）→脱脂清掃

脱脂清掃にもセットの専用シンナーの使用可能です。

脱脂ではウエスに対しシンナー100g～200g程度を使用します。×ウエスを交換して2回拭き。

浴槽周りに打ってあるシリコンシーリングに触れたウエスや手袋は以降使用不可です。

ハジキや密着不良の原因となります。

脱脂や刷毛洗浄等はホームセンターのラッカーシンナーも使用可能です。

塗料希釈には付属の専用シンナーを使用してください。（ウレタンシンナーは使用可能）

○塗料の計量混合：浴槽の塗装の場合、1回塗り量は400g混合が基本となります。

主剤320g：硬化剤（透明）80gの混合です。これに対しシンナー60g（15%±5%）程度の希釈となります。

基本、カラーは400g×2回塗り、クリアトップコートは300g×1回塗りです。

余り塗料は補修用として冷暗所で保管願います（開封後の硬化剤保管期間は主剤と比較して短いです。一般に3ヶ月程度が目安です）

業者様は溶剤用カラートナー（ハイコンク等）で色調整される場合もあります。

溶剤用カラートナー（溶剤用ハイコンク等）の使用は可能です。

○シンナーの希釈量は15%程度でスタートし、スムーズに塗装出来ない様でしたら若干シンナーを追加（5%以内程度）が良いと思います。

※クリアー希釈は5%程度です。（クリアーは元々の粘度が低いです）

2液性塗料ですので混和後の塗装中、時間の経過により徐々に塗料粘度が上がります。塗りにくくなった感じの有る場合は速やかにシンナーを微調整追加して頂き塗りやすい粘度として下さい。

2液性塗料(バスピュアコート)は混合後1～2時間程度使用可能ですが混合後の極力早い時間の使用が綺麗に仕上がります。よって混合後は速やかに施工して下さい。

混合塗料は時間の経過で固まります。固まった塗料はプラスチックゴミとして廃棄可能です。

○DIY施工の場合、ローラー施工されるお客様が多いです。（刷毛塗りと比較した場合、均一に仕上がりが易く、作業も良い為、短時間の施工となります）

ローラー施工の場合も小刷毛、目地刷毛は併用します。

刷毛もローラーも必ず溶剤用、万能用を使用します（水性用は途中で溶けます）

推奨ローラー、推奨刷毛は弊社トップページ及びネットショップにてご紹介しております。

○（ローラー施工）デジタル料理用秤等で計量混合し、攪拌棒で30秒程度の攪拌後、目地刷毛や小刷毛でドレーン周り、金物周り、入隅や角部のローラーの入りにくい部分を前もって塗装しておきます。→次に時間を開けず速やかにローラー作業に移ります。

浴槽はツルツルの壁面ですので塗装中塗料がダレ易いです。よって壁面の塗装は底板の角部から上部へローラー転がし下から上への塗装が中心となります。ダレた塗料は上に塗り広げながら塗っていきます。

何度も同じ所を塗り重ねると肌が荒れたり色むらとなったりします。綺麗な仕上げには均一で平滑な塗装が求められます。

底部の角部には塗料が溜り易いです。溜りは速やかに塗り広げて下さい。（塗料溜りやダレ部の硬化は時間を要します）

施工順序は一番手の届きにくい奥側からスタートして手前で終了します。

※強溶剤で臭気の強い塗料ですので施工中は窓を開放して頂き扇風機等の送風機で必ず十分に換気してください。安全対策は自己責任でお願いします。

弊社ブログ <http://www.314ki.com/?cn=100027&bgc=10000090>

↑は、バスピュアコートをDIYで塗っている作業景です。イメージとしてご参考願います。1回目が終了して硬化後（ここでの硬化とは半硬化を言います。手で触ってベタツキを感じないタイミング）手で触ってみて表面にブツや粗肌等があれば軽めのサンディングで表面を整えます。以降2回目のカラー塗装します。

○仕上げでクリアトップコート使用の場合は翌日以降が無難です。同様の作業でクリアー塗装します。但しクリアーは元々の粘度が低い為ダレやすいです。シンナーの希釈量は0～5%として下さい。（ごく少量での微調整）

弊社ブログ <http://www.314ki.com/?cn=100027&bgc=10000097>（FRPトイレ蓋）

↑は、刷毛目やブツのある塗装面をクリアーで解消している参考例です。

浴槽塗装は2液塗料の使用でもあり美観、精度も求めますのでなかなか難易度の高い施工となります。ご了承下さい。

以上ご参考頂き宜しくお願い致します。

※尚、上記仕様はポリバス（FRP）仕様です。ホーローバスやステンレス浴槽では下塗りにベースコートが必要となります。ホーローバス、ステンレスの施工要領をご参照下さい。